

藤沢市教育委員会定例会（12月）会議録

日 時 2010年12月16日（金）午後3時

場 所 東館2階教育委員会会議室

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の決定
- 3 前回会議録の確認
- 4 教育長報告
 - (1) いじめに関する緊急アピールについて
 - (2) 平成22年12月藤沢市議会定例会の開催結果について
- 5 議 事
 - (1) 議案第34号教育委員会事務局職員の人事異動について
- 6 その他
 - (1) 読書週間の結果について
- 7 閉 会

出席委員

1 番 佐々木 柿 己
2 番 赤 見 恵 司
3 番 澁 谷 晴 子
4 番 小 澤 一 成
5 番 岩 本 育 子

出席事務局職員

教育総務部長	田 中 一 次	生涯学習部長	中 村 亮 一
教育総務部担当部長	村 岡 泰 孝	生涯学習部担当部長	須 藤 公 夫
教育総務部参事	中 島 徳 幸	生涯学習課長	秋 山 曜
教育総務部参事	吉 田 早 苗	総合市民図書館長	古 谷 一 幸
教育総務部参事	佐 川 悟	スポーツ課長	稲 垣 一 彦
教育総務部参事	酒 井 一 二	生涯学習課課長補佐	斎 藤 隆 久
学務保健課長	吉 住 潤	生涯学習課課長補佐	三ツ井 幸 子
教育総務課主幹	須 田 朗	総合市民図書館主幹補佐	五 島 陽 子
教育指導課主幹	岡 滝 男		
書 記	田 邊 義 博		

午後3時00分 開会

岩本委員長

ただいまから藤沢市教育委員会12月定例会を開会いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本委員長

それでは、会議録署名委員を決定いたします。本日の会議録に署名する委員は、1番・佐々木委員、2番・赤見委員にお願いしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

岩本委員長

それでは、本日の会議録に署名する委員は、1番・佐々木委員、2番・赤見委員にお願いいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本委員長

続きまして、前回会議録の確認をいたします。

何かありますか。

特にないようですので、このとおり了承することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

岩本委員長

それでは、このとおり了承することに決定いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本委員長

次に、教育長報告について、(1)いじめに関する緊急アピールについて、報告をお願いします。

佐々木委員

それでは、いじめに関する緊急アピール『いじめを許さず、かけがえのない(尊い)命を守るために』についてご報告申し上げます。

(議案書1ページ参照)

「いじめ」については、このところ小中学生がみずから命を絶つ痛ましい事件が報道され、大変心を痛めているところです。どのようなことがあってもみずから命を絶つことがあってはならないと考え、教育委員会といたしましては、教育長通知として各学校長あてに「いじめに関する緊急アピール」の主旨を伝えるとともに、児童生徒、保護者に向けて12月8日に「いじめに関する緊急アピール」を行いました。

アピールの内容についてですが、児童に対しては「いじめを許さず、かけがえのない命を守るために」、生徒に対しては「いじめは許さず、尊い命を守るために」と題し、「自ら命を絶ってはいけない」「いじめは絶対にしない、周りで起こることも許さない」ということを文書で伝えました。

また、文書の裏面には保護者に対して、家庭における児童生徒のサインを見逃さないようにお願いし、子どもたちをよく見つめ、家庭での十分な話し合いをすることを促すとともに、文部科学省が発行している「子どもの自殺予防」のリーフレットに掲載されている「自殺直前のサイン」につ

いてのイラストを転記し、子どものサインの具体例を示しました。

各学校において、アピール文を見童生徒が読み合わせをしたり、道徳や学級活動等の時間に話し合いをして「いじめ」の未然防止に向けて指導するよう要請いたしました。教育委員会といたしましては、今後も「いじめは絶対に許さない」という考えのもと、学校と連携を図り、「いじめ」の未然防止、早期発見、発見後の解決に向けての対応に最善を尽くし、子どもたちがいじめ等で追い詰められ、自ら命を絶つことがないように努めてまいります。

以上で「いじめに関する緊急アピール」についての報告を終わりとさせていただきます。

岩本委員長 ただいまの教育長報告について、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

緊急アピールについて新聞等で報道されましたが、他市などへ伺ったときに、藤沢市のこの緊急アピールについてはいろいろ反響がありました。それと同時にマスコミの影響力はすごいものだと認識したわけですが、教育委員会としても、こういう大事なことは今後も発信していきたいと思っております。

そのほかには特にないようですので、報告どおり了承いたします。

×××

岩本委員長 次に、(2)平成22年12月藤沢市議会定例会の開催結果についての報告をお願いします。

佐々木委員 それでは、平成22年12月藤沢市議会定例会の開催結果についてご報告申し上げます。(議案書4ページ参照)

12月定例会の会期は、11月26日から12月14日までの19日間で開催されました。

まず、教育委員会に関連する議案でございますが、全市的な公共料金の見直しに関連しまして、受益と負担の適正化を図り、社会的公平性を確保するため、使用料の改定等の議案がございました。まず、付属する自動車駐車場の使用料について額を定める「藤沢市図書館に関する条例の一部改正について」、次に、一般展示室の使用料について額を定める「藤沢市市民ギャラリー条例の一部改正について」、次に、施設の使用料について額を定める「藤沢市学習文化センター条例の一部改正について」、次に、施設の使用料金についての額を定める「藤沢市秩父宮記念体育館の条例の一部改正について」、次に、スポーツ広場について管理に関し必要な事項及びその使用料を定める「藤沢市スポーツ広場条例の制定について」、以上5件の議案について文教常任委員会に付託されました。

続きまして、12月3日に開催されました文教常任委員会についてご報告いたします。

まず、教育委員会に関連する議案として、文教常任委員会に付託されました「藤沢市図書館に関する条例の一部改正について」、「藤沢市市民ギャラリー条例の一部改正について」、「藤沢市学習文化センター条例の一部改正について」、「藤沢市秩父宮記念体育館条例の一部改正について」、「藤沢市スポーツ広場条例の制定について」の議案につきましては、討論、採決の結果、賛成多数で可決すべきものとされ、その後、本会議において可決されました。

次に、報告案件でございますが、教育委員会に係る案件は3件ございました。報告案件の(2)、「藤沢市教育振興基本計画の策定状況について」では、計画の基本構想について諮問していた計画策定委員会から答申がなされたので、計画策定委員会の開催状況など、これまでの経過や答申書の概要について、計画の基本理念「未来を拓く『学びの環』ふじさわ」が目指す、目標と基本方針、そして今後のスケジュールについてご報告いたしました。

報告案件の(3)、「生涯学習ふじさわプランの改定について」では、生涯学習推進本部の中で「(仮称) 新生涯学習ふじさわプランー藤沢市生涯学習推進基本構想・基本計画」の素案がまとまったので、計画の基本的な考え方、基本構想、「施策の目標」と「施策の柱」、そして今後のスケジュールについてご報告いたしました。

報告案件の(4)「市民との協働による公民館の運営について」では、市民運営移行の経過、湘南台公民館運営の検証状況について委託契約の実施状況、利用者及び公民館運営審議会からの意見、公民館長及び市民運営団体からの意見の、3つの観点からの検証、市民センター併設館における市民運営移行に向けての準備状況、そして今後の予定についてご報告いたしました。以上で、文教常任委員会のご報告を終わらせていただきます。

続きまして、一般質問についてでございますが、教育委員会に関連するご質問は、6ページに記載のとおりでございます。

以上で、平成22年12月藤沢市議会定例会の開催結果についての報告を終わりとさせていただきます。

岩本委員長

ただいまの事務局長の報告につきまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

特にないようですので、報告どおり了承することといたします。

XX

岩本委員長

議事に入ります前に、議案第34号「教育委員会事務局職員の人事異動

について」は、人事に関する案件であるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 13 条第 6 項ただし書により非公開での審議といたしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

岩本委員長 ご異議ありませんので、議案第 3 4 号「教育委員会事務局職員の人事異動について」は、後ほど非公開での審議といたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本委員長 次に、その他に移ります。

(1) 「読書週間の結果について」、事務局の説明を求めます。

古谷総合市民図書館長 平成 22 年度読書週間の結果について、ご報告いたします。(議案書 11 ページ参照)

毎年、10 月 27 日の「文字活字文化の日」を初日といたしまして、11 月 9 日までの期間が「読書週間」となっております。この読書週間は、1947 年(昭和 22 年)、戦火の傷跡が日本中に残っているころ、「読書の力によって平和な文化国家をつくろう」と、出版社、書店、公共図書館などが力を合わせ、新聞や放送等マスコミ機関の協力のもと「第 1 回読書週間」が開催されたものです。

それから 60 年以上がたった現在、読書週間は国民的な行事として広く知られるようになっております。本市においても毎年、総合市民図書館をはじめ各市民図書館でこの期間を中心に、本と楽しい出会いをしてもらえようさまざまな催しを実施しております。今年は特に「国民読書年」、また「市制施行 70 周年」ということもあり、例年以上に充実した内容、取り組みを行いました。資料にございますように、4 館で 12 事業を実施し、延べ 7,261 人の皆さんにご参加いただきました。

それでは、主なものについて簡単にご説明いたします。

総合市民図書館の事業として、「はじめての徒然草」という古典についての講座を「並木の里」主宰の増淵勝一さんをお願いいたしました。この方は本市の図書館協議会委員をされた方ですが、一昨年、初めて「源氏物語」を行いまして、大変好評だったということもあって、昨年は「伊勢物語」、今年は「はじめての徒然草」という題で大変ユーモアあふれるすばらしい講義をしていただきました。

次の「映像と講演会のつどい」では、本市在住の川又昂さんをお呼びして、「砂の器」の上映と川又さんご本人の映画人生について講演を行いました。それから江ノ電全線開通 100 周年と市制 70 周年を記念したスペシャルトークとして、江ノ島電鉄株式会社の君塚利啓さんから、江ノ電の歴史とその魅力についてご講演をいただきました。また、今年初めての中学

生、高校生世代のための「新・楽しく大人講座」というのを「武士道シックスティーン」等の青春作家で藤沢在住の誉田哲也さんをお招きして、作家の青春時代、仕事、小説の世界について講演をいただきました。参加者は71人で内訳としては10代が18人、大人53人と大変多く、その後、若い世代も多く質疑等に参加をされておりました。

南市民図書館は、恒例の文学散歩ですが、今年は「小田原を舞台にした文学を鑑賞し、ゆかりの地を歩く」として、文芸評論家の島津勝昭さんをお願いいたしました。

辻堂においては、講演会として生涯学習課の細井守さんから、室町時代から続く辻堂の名主三髯八郎右衛門家の歴史と建物についてお話をいただきました。

湘南大庭ではおはなし会や子ども映画会のほかに「ふじさわ70年!!あの日あの頃」と題して、昭和初期から40年代までの藤沢の写真の展示いたしました。写真は文書館からお借りをする中で実施したわけですが、大変大勢の方にご参加をいただきました。以上で、読書週間についての報告を終わります。

岩本委員長 事務局の説明が終わりました。ただいまの説明に対してご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

小澤委員 読書週間ということではいろいろところでやられているけれども、未来の子どもたちが読書離れをすることのないよう、今後もいろいろな企画を立てていただきたいと思います。

それから湘南大庭の「ふじさわ70年!!あの日あの頃」の写真展示に4,600人というのは大変な数ですが、多くの市民が藤沢の歴史を知るためにもまたどこかで開催していただきたいと思います。

岩本委員長 「チャレンジド（視覚・聴覚障がい者）とともに映画会！」というのはどのような内容でしょうか。

古谷総合市民図書館長 この「スウィングガールズ」の上映は、特に読書週間の中での行事ではないのですが、図書館に点字図書館が組織としてありまして、たまたまこの期間に障がい者向けに副音声・字幕付映画を上映したわけですが、障がい者を初め健常者も多く参加されました。当然、これには誘導奉仕会の方々のお力をいただいたわけですが、また、そのときにアンケートを取らせていただいたのですが、とても感動的な内容でよかったと、またこういうものを作ってほしいというご意見もございました。

五島総合市民図書館主幹補佐 映画会の人数は合計58名で、うち障がい者14名と大人のボランティア25名、健常者19名でした。

岩本委員長 すばらしい企画だと思いますし、ぜひこのような機会を私たちも体験さ

せていただきたいと思います。

澁谷委員

湘南大庭の写真展は、一館だけでは惜しい気がします。これまで、4つの図書館が共同で企画し、その企画を巡回するというようなことはありましたか。

古谷総合市民図書館長

基本的にはそれぞれの図書館が独自性、自主性で実行委員会等が検討して行っているという状況ですけれども、おっしゃるような大変好評だったものについては、他の館でも展示ができるように検討していきたいと思います。

岩本委員長

以上で、本日の公開による審議する案件はすべて終了いたしました。ここで、教育委員会がこの定例会以外にどのような活動を行っているか、簡単にご報告させていただきたいと思います。

10月17日には福井県福井市で行われた教育委員のための研修会に参加してまいりました。そこでは各自治体におけるさまざまな事例が発表されました。内容的には幼・小・中連携、基礎学力を高めるためにどのような活用をしていくか等、他の市町村の方からもいろいろお聞きしたものを、これからの藤沢市の教育委員会の取り組みに生かしていけたらと思っています。

11月に入ってから滝の沢中学校、富士見台小学校、浜見小学校の3校で研究授業が催され、授業参観という形で参加いたしました。また、11月18日には八ヶ岳野外体験教室の視察をいたしました。皆様もご承知のとおり、教育委員会の八ヶ岳野外体験教室は事業仕分けの1つの課題としてありましたので、私たちもその方針に沿って施設を見学してまいりましたが、自然体験学習をするすばらしい施設であるということを感じました。現状の課題として、少年の家とか体験学習の施設は全国にあります。この施設も年間2億ぐらいの赤字を出しているといったことが言われており、こういう教育のための施設を維持していくことに苦慮されている状況は、どこも同じようです。八ヶ岳の施設を、教育委員会としても、ぜひ子どもたちの教育のために生かすような方向で考えていきたいと思います。また、その結果については皆さんにご議論いただくとともに、いろいろな課題等も報告をしていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それから11月25日には御所見中学校と長後中学校の視察を行いました。御所見中学校では、中学校独自の御中検定というお互いの学力を高めるために先生方が頑張っている様子などをお聞きしてまいりました。また、長後中学校では学校評議員、PTAの方々と懇談の機会を設けていただきまして、八ヶ岳での体験学習は子どもにとって貴重な機会だったというお話

しを聞きました。また、ほかには、全ての小・中の一斉に太陽光発電設備が入ることはいかなものかというご意見がありました。学校によっては優先すべきものが違うのではないかという話しです。それに関しては災害が起こったときに発電設備を設置することにより避難してきた人々への緊急災害対策になるとか、CO2削減は日本の国の課題であるということの説明させていただきました。そのほか、子どもの携帯電話への心配、英語の授業のあり方などいろいろな話を伺うことで、改めてこちらから説明することの大切さを感じました。今後もそのような機会を設けて、皆様のご意見が伺えるような委員の活動を増やしていきたいと思います。以上で教育委員会の活動の報告を終わります。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本委員長

それでは、次回の定例会の期日を決めたいと思います。

1月13日(木)午後3時、傍聴者は20人、場所は東館2階 教育委員会会議室ということでいかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

岩本委員長

以上で、本日の公開による日程はすべて終了いたしました。

午後3時28分 休憩

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷